

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
 会長 門前 智
 事務局長 齋藤 昇一
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
 印刷所 ㈱ 有 伸 商 会
 TEL (011) 814-6211

第41回北海道学校図書館研究大会 室蘭大会を終えて

室蘭大会運営委員長 酒 井 浩 一
 (室蘭市立桜蘭中学校長)



北海道教育委員会、室蘭市教育委員会をはじめ、多くの関係機関の多大なご支援をいただき、第41回北海道学校図書館研究大会室蘭大会を開催

できましたことに、心より感謝申し上げます。

約30数年ぶりの室蘭大会の開催となりましたが、本市においては市内小中学校の統廃合が進む中、2年前に室蘭市で第41回大会の開催が決定した時は、大会の開催にあたり運営面において大変不安な気持ちになりました。

しかし、この学校図書館研究大会の開催を契機に本市の図書館教育や各小・中学校教育のさらなる発展に期待し、市教育委員会や市立図書館、小・中学校長会、教頭会、市教育研究会等のご支援とご協力のもと、一致団結して準備を進めてまいりました。

研究大会1日目は、市内7会場で授業公開を行い、主会場の旭ヶ丘小学校で全体会・分科会が行われました。各分科会ともに、熱心な研究協議が行われ、高い評価をいただくことができました。提言についても、校種別の他に全道各地から、管理運営と特別支援教育を加えた10分科会で2つずつ、実践にもとづくすばらしい提言が発表され、充実した内容となりました。

2日目のセッションでは、学校図書館ボランティアの活動紹介や室蘭工業大学、須藤准教授による大人のビブリオバトル、学校司書法制化に関連したもの、室蘭市立図書館長による本の紹介、港の文学館・文学碑巡り、読後討論会の参観など、室蘭ならではの内容も取り入れながら室蘭らしさが出る大会となるように工夫し好評を得

ることができました。

武田美穂先生の記念講演では「絵本を楽しもう」と題して、絵本の魅力やすばらしさをご本人の朗読や作品制作のエピソードを交えてお話しくださり、90分があったという間に過ぎてしまいました。講演前後には、購入した武田先生の絵本にサインをを求める多くの人の列ができました。

運営面では、大会の成功に向けて運営委員一人一人が、円滑な運営に努めましたが、いたらない面も多々あったことと存じます。門前会長をはじめとする北海道学校図書館協会の役員の皆様、そして、全道の学校図書館関係者の皆様のおかげで、研究大会を無事に終了することができましたことに、心より感謝とお礼を申し上げる次第です。

今回の大会で学ばせていただいたことをもとに、本市教育の一層の発展充実に努めてまいるとともに、本研究大会の成果が、魅力ある楽しい読書活動や読書指導に、そして、わかりやすく、学習意欲が高まる授業実践に結びつき、学力の向上のみならず、豊かな心の育成に大きな力を発揮することを願ってやみません。全道各地での研究の輪が、深まり・広がり・つながることを祈っております。ありがとうございました。



第41回 北海道学校図書館研究大会 室蘭大会

ふくらむ可能性

札幌市立平岡緑中学校 司書教諭 石岡潤也

調べものをする際、誤って開いてしまったページが思いがけず面白く、つい引き込まれてしまった経験があります。今研究授業のことを思い返して、そんなことを思い浮かべました。

桜蘭中学校で拝見させていただいた2つの研究授業には、本を使って調べものをする生徒の、気づきと試行錯誤がありました。どの本に自分の知りたい知識があるのか、どうすればそこにたどりつくことができるのか。生徒は、実際に本を手に取り、ページをめくって、与えられた課題に取り組んでいました。

もしかすると、インターネットを利用すれば、一本道でもっともらしい解答にたどりつくことができるかもしれせん。しかし、解答までの一本道では、その答えが正しいものなのか、そうではないのか、疑う隙間がありません。自らの手を使って調べる過程で、自分の思考の誤りに気づかされたり、後にも活きる「物事の調べ方」を体験的に学んだりするのだと思います。今回の研究授業では、生徒が本を使って、自分の力で知識を獲得していく様子を目の当たりにすることができ、大変勉強になりました。

また、記念講演での武田美穂さんの絵本の朗読も大変刺激的でした。擬音の表現、ページをめくる際のため、開かれたページから飛び込んでくる色彩に引き込まれました。それが本のもつ大きな力の一つだと思います。

これらを通して、今回の大会の研究主題、副主題が自分の中にすんと落ちてきました。こういった本との出会いや経験を通して、子どもの「未来を切り拓く力」を培い、ことばの広がり可能性のふくらみを感じさせることができると思いました。

今回の大会に参加させていただき、学校図書館に関わるものとして、子どもたちの人生に資する経験をプロデュースできたらと考えるようになりました。時に友人として、時に師として、子どもたちに寄り添えるような本を選書し、手に取りやすい環境を作っていく。そのために、司書教諭として、自分自身の知識を深め、札幌市でもついに配置される学校司書と協力し、その他関係機関と連携してよりよい学校図書館の運営をしていきたいと思ひます。大変有意義な時間を、ありがとうございました。



魅力的なビブリオバトル

函館市立日吉が丘小学校 教諭 福崎 梢

北海道学校図書館研究大会では、毎回、全道の先生方から授業や図書館運営に関する旬な情報とアイディアをたくさんいただき、私にとって、図書館運営をしていく上での大きな支えになっています。

これまでは小学校の授業や分科会に参加することが多かったのですが、今回、初めて中学校の読書指導の授業と分科会に参加しました。星蘭中学校で行われた授業では、1年生が友達に紹介したい本を持ち寄り、ミニビブリオバトルを行いました。「伝えたい内容に合わせて引用し、魅力的な読書紹介をしよう。」という目標のもと、生徒のみなさんは、予め付箋を貼ったページを開きながら、その本の魅力を伝えようと、3分間熱心に話していました。最後の感想発表では、「引用があるから、その本の面白さが伝わる。」といった感想の他に、「引用は（本の内容の）一部しか出てこないから、そこから想像がつながる。」といった感想も出され、さすが中学生！と驚かされました。引用により想像が広がり、さらにそこから「この本読んでみたい！」という思いにつながる、こういう思いをもてることこそ、読書好きの生徒にとってはたまらなく嬉しいことであろうと思ひます。

2日目のセッションでは、「これが大人のビブリオバトル」に参加しました。室蘭工業大学の須藤先生にビブリオバトルの進め方について教えていただいた後、実際に参加された先生方でビブリオバトルを行いました。「好きな本、紹介したい本とは、その人の個性を表すもの」と須藤先生はおっしゃっていましたが、なるほどその通り！みなさん本にこめた思いを熱く語ってくださいました。普段自分では選ばないような本も紹介され、読んでみたくなり、さっそく帰ってきてから書店で購入し、読み始めました。これまでの自分の読書傾向の中にはなかった新たな分野が1つ加わり、ちょっと心豊かになった気分です。

私にとって今回の大会は、「ビブリオバトル」の魅力がたくさん教えていただいた大会となりました。素晴らしい授業や分科会、セッションの場を提供して下さった室蘭の先生方に心から感謝いたします。本当に、ありがとうございました。

新たな扉を開いて

旭川市立中央中学校 学校司書 蒔田 聖子

北海道学校図書館研究大会は、一昨年の小樽大会に続いて2回目の参加でした。前回の小樽大会では何か新しいこと、興味深いこと、日々の業務に参考になることはないかと、ひたすら受信することに専念していましたが、今回は分科会での提言者という発信する側での参加でした。昨年度、小学校の学校司書を兼ねていた時に、当時4年生を担当していた先生と連携して、授業支援をした事例を提言しました。学校司書として私自身がやったことはささやかなことでしたが、先生がそれを上手く活かして授業をしてくださったので、子どもたちは目を見張るような素敵な成果を出してくれたのです。「学校司書は上手く使ってもらえると、先生方の授業支援をすることができますよ」ということを発信してみたかったのです。教科書とは別の資料を使い、調べながらの学習は、それがうまく進むと、ただ暗記する学習よりもずっと身に付いて自分のものになり、おいそれとは消えにくい知識となるそうです。

桜蘭中学校の公開授業では、メディアリテラシーを盛り込んだ理科の授業に目からうろこの思いでした。最初は、理科の実験の授業で、どうやって学び方を指導するのか、まったくイメージがつかめませんでした。授業では、光合成に関する実験結果と参考図書資料で調べたことを比較し、確認するという活動を行っていました。しかし、用意された参考資料の中には、今回の実験の成果を確認するには関係ないものも入っており（多分意図的に）、たくさんある資料(情報)の中から自分が必要とする情報を取捨選択し、さらに選択したものを比較しながら理解するというメディアリテラシーが、無理なく身に付くよう仕組まれていたことに、驚きを感じました。授業をされた理科の先生が「教科書だけじゃ、本当かどうかわからないだろう？」とおっしゃっていたのが印象的で、感動でした。

さらに学校図書館が改正されたことで、今回の大会では各地から馳せ参じた学校司書の方たちがいらっしやう、これからは仲間が増えていくであろうと、嬉しい出会いがありました。

実りの多い室蘭大会に参加できて、感謝でした。ありがとうございました。

身近に図書がある環境づくりを

苫小牧市立北星小学校 教諭 三橋 幸奈

今年初めて図書の担当となり、大会も初めて参加させていただきました。私の学校では、今年から学校図書館司書が配置されたものの手探り状態の日々だったので、図書の効果的な活用と学校図書館の在り方について学ぶため、参加させていただきました。

室蘭市立八丁平小学校では、ビブリオバトルを通して子どもたちが自分の言葉でいきいきと話している姿に感動しました。原稿もなく偉人の紹介や自分の考えを話せるということは、先生方がこれまで指導事項をしっかりとおさえて指導されてきた成果とともに、子どもたちが自分の選んだ本に愛着を持っているのだと感じました。選書も魅力的で子どもたちが読みたくなるような本が十分に揃えられていたことにも驚きました。授業の中に図書を取り入れることで、子どもたちは自分の1冊を真剣に読み、その後の読書活動にも大きく広がっていくように思います。今回の単元に限らず、図書が特別なものではなく身近に揃っているという学習環境は、子どもたちの意欲をより高め学習効果も高まるのだと改めて実感しました。

国語の学習において並行読書の重要性は言われていますが、どの学校も並行読書の選書や準備に苦労されていることと思います。単元のゴールや学年の実態が変わると選書も変わり、誰がどのように、いつ揃えるとよいのかという問題もあります。室蘭では、分掌で図書部に数人が所属している学校もあるとお聞きしました。学校全体で図書活動の推進をしていく環境は素晴らしいと思います。まずは、担当が図書の効果的な活用を学校全体に呼びかけていき、学年との連携を密にして、子どもたちにとって図書がさらに身近なものになるよう工夫していかなければならないなと思いました。

たくさんの方と情報交換を図り、明日から始められる工夫を教えていただくことができとても勉強になりました。本大会の開催にあたり、ご尽力されてきた方々に心から感謝します。ありがとうございました。



学校図書館のさらなる活用を目指して

室蘭市立桜蘭中学校 教諭 清水 巖

初任者として桜蘭中学校に赴任して1年半、知識も経験も不足する中での授業は苦難の連続でした。学校図書館を活用した授業とは何かが分からず、授業案の作成がなかなか進まないことがあったり、担任の仕事も四苦八苦のなか、研究授業への準備に集中できなかつたりしたこともありました。しかし、多くの方々のサポートによって、何とか授業を成功させることができました。

授業を準備していく中で、改めて感じたのは学校図書館には授業で使える教材がたくさん眠っているということでした。恥ずかしながら、私は今まで学校図書館にあまり目を向けてきませんでした。教材研究に関しては専らインターネットを使い、図書室に向かうことはほとんどありませんでした。しかし今回、研究授業という機会をいただき、図書室を改めて探索してみると「こんな本があるのか」や「これは授業に使える」など意欲を掻き立てられるものばかりでした。

ただ、かつての私がそうであったように、学校図書館が日々の授業に生かされている例は、まだまだ多くないように感じます。これを変えるには学校図書館の魅力に気付いた人が、というかまずは私が図書館資料を使って魅力的な授業を実践していくことが、大切かと思えます。未熟者の私ですが、志を高く持ち続けたいと思います。

今回の研究授業にあたって、穂別中学校の授業を見学させていただきました。その中で感じたことは、いかに日々の授業の中に学校図書館を利用した調べ学習を組み込んでいくかということでした。3年間で計画的に調べ学習を取り入れることによって、生徒の検索能力が高められるということはとても参考になりました。

今回の研究大会は私にとって、その準備の時間も含めとても勉強になった貴重な機会となりました。このチャンスを与えてくださった多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



支部だより ～札幌支部

札幌支部は、研究の主題を「学ぶ喜び、味わう楽しさ～子供の育ちを支える学校図書館の創造～」として、司書教諭、図書館担当者、学級担任が子どもたちに学ぶ喜びを与え、本を読むことのよさ、味わうことの大切さに気づかせるために、どのような関わりをもっていくことが望ましいのか考察し、研究を進めています。

読書感想文コンクールの審査、表彰式の運営などの事業の他、研究部では、毎年の研究大会や年4回程度の実務研修会を行っています。

今年度は、現在まで以下のような3回の実務研修会を開催しました。

・第1回 4月30日 「読書活動の推進について」

札幌市中央図書館を会場にして、中央図書館の岸峯千恵子氏を講師に迎え、公共図書館と学校図書館の連携について、考えていきました。また、その後中央図書館を見学させていただきました。

・第2回 6月25日 「新聞記事データベース活用法」

札幌旭丘高等学校で、高瀬敏樹先生から、新聞記事のデータベースの活用方法についてお話を伺い、実際にデータベースを使ってみました。

・第3回 7月28日 「図書館クリニック」

道立図書館の鈴木浩一氏に図書館のリニューアルの方法を講義していただいた後、北白石中学校の図書館の本の配置などに工夫を加えていきました。

今後は、12月に研究大会、年明けに第4回実務研修会を行う予定で、計画を進めています。また、平成29年には、第42回北海道学校図書館研究大会を札幌で開催させていただくことが決定しましたので、それに向けての組織作り、研究にも力を入れているところです。

(文責 札幌市学校図書館協議会事務局長 札幌市立厚別北中学校 教諭 綿谷 聡)

第27回読書感想画コンクール・第3回全道コンクール募集要項

- 1 主催 公益社団法人全国学校図書館協議会 毎日新聞社 北海道学校図書館協会
- 2 後援 北海道・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会・北海道読書推進運動協議会・北海道国語教育連盟・北海道造形教育連盟
- 3 対象図書 (1) 自由読書(推薦「北海道青少年のための200冊」)(2) 指定読書(主催者が指定した図書)
上記の中から本を選び、その読後感を感想画で表現する。
- 4 応募締切 平成27年12月25日(金)
- 5 応募資格 北海道内の小学校・中学校・高等学校に在学する児童生徒
満20歳以下に限る。(1995年4月2日以降出生)
- 6 作品規定 ※感想画用紙は、画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙いずれでも可。
(ワク貼りキャンバスや木製パネルなど厚みのある作品は不可)
作品の寸法は、36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下(8つ切～4つ切)とする。
※絵具は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。版画・はり絵も可。
(ただし、立体など厚みのあるものを貼付した作品及び破損しやすい作品は審査の対象としない。)
※作品の裏面に、応募票・作画感想(200字以内)を貼付すること。(用紙は中央コンクール応募要項のものを使用)※作画感想は原則として自筆とする。
※募集要項に合わないもの、読んだ本にある絵をまねたもの、ポスター、映画・ビデオ・DVD等の場面をまねたものは審査の対象としない。
- 7 応募に当たって
※一人で自由読書・指定読書それぞれ各1点応募できる。
※応募作品の著作権・出版権は主催者に帰属し、原則として作品の返却はしない。
※作品は必ず在籍校に提出し、学校単位で応募すること。
- 8 応募先 ☎060-8643 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日新聞社北海道支社
『第27回読書感想画コンクール・第3回全道コンクール』係
電話011-281-5252 FAX011-251-3551
- 9 審査 主催者が委嘱した審査委員により行う。
- 10 審査区分 ①小学校低学年(1・2・3年)の部 ②小学校高学年(4・5・6年)の部
③中学校の部 ④高等学校の部
- 11 賞 1) 個人賞
①最優秀賞 ②優秀賞 ③優良賞 ④奨励賞
2) 学校賞～上記の①②③を受賞した児童生徒の在籍校の中で優秀と認められる学校
※各部上位各4点(自由2点・指定2点)、合計16点を北海道代表作品として中央コンクールに提出する。

	◎指定図書(書名)	著者名	出版社	価格(税別)
小学校 低学年	どうぶつがっこう	トビイルツ(作・絵)	PHP研究所	1,100円
	さよなら宇宙人	高科正信(作) 荒井良二(絵)	フレーベル館	1,200円
	ワニくんとパーティーにいったんだ	ジュディス・カー(作・絵)	徳間書店	1,400円
	はるくんのおすもう:よつごのこりす	こだま ともこ(訳) 西村 豊(著)	アリス館	1,400円
小学校 高学年	金色のキャベツ	堀米 薫(作) 佐藤真紀子(絵)	そうえん社	1,200円
	北加伊道(ほっかいどう) :松浦武四郎のエゾ地探検	関屋敏隆(文・型染版画)	ポプラ社	1,600円
	ぼくと象のものがたり 日本気象協会 気象予報の最前線	リン・ケリー(作) 若林千鶴(訳) 深光富士男(文)	鈴木出版 佼成出版社	1,600円 1,500円
中学校 ・ 高校	万次郎:地球を初めてめぐった日本人	岡崎ひでたか(作) 篠崎三朗(絵)	新日本出版社	1,500円
	ファイト!木津西高校生徒会	本田有明(著)	河出書房新社	1,500円
	リフカの旅	カレン・ヘス(作) 伊藤比呂美・西 更(訳)	理論社	1,400円
	?(疑問符)が!(感嘆符)に変わるとき :新聞記者、ワクワクする	小国綾子(著)	汐文社	1,400円
	渋谷ギャル店員 ひとりではじめた アフリカボランティア	栗山さやか(著)	金の星社	1,300円

第41回 平成27年度 青少年読書感想文全道コンクール

北海道指定図書

北海道の先生がおすすめする本

小学校低学年の部



フレヨンからのおねがい!
ドリュー・デイウォルト/文
オリヴァー・ジェファーズ/絵 木坂涼/訳
ほるぷ出版 定価1,500円+税



ええことするのは、ええもんや
くすのきしげのり/作 福田岩緒/絵
えほんの杜 定価1,200円+税



ゆきがくれたおくりもの
リチャード・カーティス/文
レベッカ・コップ/絵
ふしみさを/訳
ポプラ社 定価1,480円+税

小学校中学年の部



北加伊道
松浦武四郎のエソ地探検
関屋敏隆/文・型染版画
ポプラ社 定価1,600円+税



先生、しゅくだいやすめました
山本悦子/作 佐藤真紀子/絵
童心社 定価1,100円+税



ぼくのニセモノをつくるには
ヨシタケシンスケ/作
ブロンズ新社 定価1,400円+税

小学校高学年の部



槍ヶ岳山頂
川端誠/作
BL出版 定価1,600円+税



ネルソン・マンデラ
カディール・ネルソン/作・絵
さくまゆみこ/訳
鈴木出版 定価1,900円+税



ロード
キャンピングカーは北へ
山口理/作 佐藤真紀子/絵
文研出版 定価1,300円+税

中学生の部



時速47メートルの疾走
吉野万理子/著
講談社 定価1,400円+税



ユキとヨンホ
白磁にみせられて
中川なをみ/作
船橋全二/絵
新日本出版社 定価1,500円+税

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。
詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。

●ホームページ

北海道学校図書館協会

検索

北海道の本を読みましょう!

第61回 青少年読書感想文全道コンクール/第41回 北海道指定図書読書感想文コンクール

■主催/北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社 ■後援/北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力/北海道読書推進運動協議会

第48回北海道学校図書館研修講座へのご案内

主催 ●北海道学校図書館協会
後援 ●北海道教育委員会 札幌市教育委員会
趣旨 ●学校図書館の運営及び情報・メディアを活用する学び方の指導、並びに読書指導に関する基本的事項について理解を深めるとともに、学校図書館の目指す方向と役割についての見識を深め、学校図書館の機能の向上を図ることを目的とする。

日時 ●平成28年1月6日(水)～8日(金)
会場 ●北海道立道民活動センター (かでの2・7)
 札幌市中央区北2条西7丁目 ☎(011)204-5100
 ●札幌市立琴似中学校
 ●北星学園大学図書館

参加資格 ●学校図書館及び読書指導・学び方の指導に関わっている方ならどなたでも参加できます。

定員 ●150名
参加費 ●4,000円(資料代を含む)
参加申込 ●参加ご希望の方は、研修講座参加申込書に必要事項を記入して、12月1日(火)～18日(金)の期間に直接FAXにてお申し込みください。
 申込書は、当協会のホームページ「研修講座」からダウンロードしてください。
 申込先 FAX(011) 661-3763
 札幌市立発寒中学校 本間 由美

A. 共通講座

講演 「これからの読書活動と学校図書館の在り方」

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 杉本直美
 国立教育政策研究所 教育課程調査官・学力調査官

B. 選択講座：ファーストコース

1. 講義 「管理・運営」
 全国SLA 学校図書館スーパーバイザー 佐藤敬子
2. 講義 「図書館活動」
 札幌市立発寒東小学校 司書教諭 廣澤由美
3. 講義 「読書指導」
 札幌市立上白石小学校 司書教諭 山田佳子
4. 講義 「情報・メディアを活用する学び方の指導」
 札幌市立発寒中学校 司書教諭 本間由美

～研修日程～

1月6日(水)〈かでの2・7〉 ※受付は4階大会議室で行います。直接お越しください。

9:30	10:00	10:25	12:00	13:15	14:45	16:30	18:00	20:00
受付	開講式	A. 講演	昼食	B1. 管理・運営	B2. 図書館活動		E1. 本	
				C1. 資料収集			E2. マンガ	
				C2. アニメーション			E3. 装飾	
				F1. 研究部長会				

1月7日(木)〈かでの2・7、琴似中学校、北星学園大学図書館〉

9:30	12:00	13:15	13:30	14:45	16:30	18:00
C3. 朗読	昼食	B3. 読書指導	B4. 学び方の指導		懇親会	
C4. 読書ノート		C7. レファレンス(北星学園大学図書館)				
C5. クリニック(琴似中)		C5. クリニック(琴似中)				
C6. 資料展示		C8. 学校司書交流				
F2. 研究部長会						

1月8日(金)〈かでの2・7〉

9:30	11:30	11:50
D1. 討議〈小〉	閉講式	
D2. 討議〈中・高〉	閉講式	
D3. 討議〈特別支援〉	閉講式	

C. 選択講座：ステップアップコース

1. 講義・実習 「これでバッチリ！資料収集」
 札幌聖心女子学院中学校・高等学校 司書 新田裕子
2. 講義・実習 「ステップアップ・読書アニメーション」
 札幌市立栄小学校 司書教諭 佐藤広也
3. 講義・実習 「朗読を楽しもう」
 元HBCアナウンサー・朝日カルチャー講師 安藤千鶴子
4. 講義・実習 「もっと読みたくなる！読書ノート」
 札幌市立宮の丘中学校・札幌市立新陵中学校 学校司書 浅村麻姫子
5. 講義・実習 「一日まるごとクリニック」
 旭川市立愛宕中学校 司書教諭 加藤直子
6. 講義・実習 「図書館を発信する！～人が集まる資料展示」
 北海道立図書館利用サービス主任 鈴木浩一
7. 講義・実習 「レファレンスの基本」
 北星学園大学図書館 司書課長 宮川淳子
 閲覧参考係 馬淵慎吾
8. 講義・交流 「学校司書と話そう」
 北海道帯広三条高等学校 司書 高橋理奈

D. 校種別選択講座

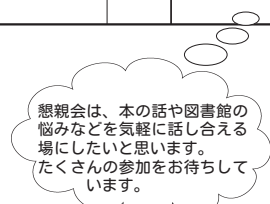
1. 討議 「図書館資料の活用とその指導～小学校」
 札幌市立手稲宮丘小学校 教諭 七條亜樹
2. 討議 「図書館資料の活用とその指導～中学校・高等学校」
 札幌市立栄町中学校 司書教諭 田口祐弥
3. 討議 「図書館資料の活用とその指導～特別支援」
 名寄市立名寄東中学校 司書教諭 植田美保子

E. ナイター

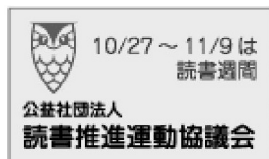
1. もっと本の話しよう！
2. やっぱりマンガ
3. 作ろう！かんたん装飾

F. 指導者研修講座(全道研究部長会)

1. 第48回北海道学校図書館研究大会(室蘭大会)について
2. 支部研究交流
 各支部研究部長
 北海道学校図書館協会研究部長 山田佳子(札幌市立上白石小学校 司書教諭)
 北海道学校図書館協会事務局長 齋藤昇一(札幌市立藻岩中学校 校長)



学校図書館情報



◆「いつだって、読書日和」

2015年 第69回 読書週間
10月27日(火)～11月9日(月) 標語入選者の賀澤隆一さんの言葉。「たとえば晴れた日の太陽の下で、雨や曇りの日なら静かな室内で、考えてみれば、どんな季節や環境でも、本の世界に飛び込む瞬間が、自分にとっての読書日和でした。読みたいと思う本に出会い、そのときの状況までも心に残るような読書体験が、多くの人に広がってほしいと願います」と標語にこめた思いを語っていらっしゃいます。ポスターとして採用された大学生「かずきにを」さんは、「本を読んでいると、ついつい時間を忘れて夢中になってしまいます。そんな本の楽しさを、このポスターを見て少しでも感じていただけると嬉しいです」と述べられています。

◆平成27年度北海道学校司書実務研修開催

学校司書に求められる専門的・技術的な知識・技能を習得するための実務研修を実施し、学校図書館の運営の改善及び向上を図ること等を目的に実務研修が道内三会場で北海道教育委員会の主催で開催されます。

開催日時と場所は、以下の通りです。

<札幌会場>

・平成27年11月10日(火)10:00～16:00
道庁別館 地下大会議室

<オホーツク会場>

・平成27年11月17日(火)10:00～16:00
オホーツク総合振興局 3階2号会議室

<上川会場>

・平成27年12月14日(月)10:00～16:00
上川総合振興局 講堂

研修内容は、「学校図書館の役割と意義」、「図書館資料の管理(基礎編)」、「図書館資料の管理(実践編)」、「教育指導への支援」、各学校における学校図書館業務の実情についての意見交換となっています。全国学校図書館協会スーパーバイザーでもある、当協会の野村邦重先生、佐藤敬子先生も講師を務めます。是非ご参加ください!

事務局

事務局長 齋藤 昇一 (札幌市立藻岩中学校校長)
TEL 011-571-6039
FAX 011-572-3333
事務局校 札幌市立平和通小学校
事務局次長 野村 邦重
〒003-0027 札幌市白石区本通15丁目北3-1
TEL 011-863-0235 FAX 011-863-0265

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15
TEL (011) 857-3331
FAX (011) 857-5211

◆【新刊紹介】司書教諭・学校司書のための

「学校図書館必携」一理論と実践一

公益社団法人 全国学校図書館協議会 監修
株式会社 悠光堂 刊行

定価4,000円(税別) ISBN978-4-906873-50-0

本書は学校図書館にかかわる全てをこの一冊で網羅し、総合的な知識や標準的な指針を詳解しています。また、アクティブラーニング等の最新のトピックスにも対応し、学校図書館機能の活性化、他機関とのネットワークなども解説しています。学校図書館の日常活動に役立ちつつ、今後描くべき学校図書館を知ることができる、広い展望がもてる一冊です。当協会でも特別価格で頒布しております。是非、事務局までお問い合わせください。

◆札幌市学校図書館司書配置事業始まる

今年度10月1日より、中央区(既にモデル的に1名配置済み)を除く各区中学校1校ずつに学校図書館司書が配置されました。一人二校掛け持ちによる配置で計5名の学校図書館司書が誕生したこととなります。今後、学校図書館の利活用が益々期待されています。

編集後記

10月に入り寒い日が続いていますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。本号は9月開催の第41回北海道学校図書館研究大会室蘭大会の内容を特集してお知らせしています。読書週間に入り、子どもと本を、より一層近づける実践を積み上げていきたいものです。

(編集: 杉本 操 村山 知成 野村 邦重)
大久保雅人 齋藤 昇一



ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>